

平成21年1月16日

水産部水産振興課

(担当：浦)

安全・安心養殖魚づくり推進事業にかかる「水産用医薬品等
適正使用確認調査」の結果について

本県では、「安全・安心養殖魚づくり推進事業」の一環として県内養殖魚の安全・安心を広くアピールし、本県養殖業の発展と消費者の健全な食生活の維持を図るため、今年度も「水産用医薬品等適正使用確認調査」を実施しております。

今回、11月26日から12月9日までに調査した養殖魚の検査が終了したので、その結果を下記のとおりお知らせします。

なお、今後の調査結果についても、検査が終了次第、随時公表します。

記

対象業者数： 7業者

検査検体： ブリ 6件、マダイ 5件、トラフグ 1件
(1尾を1検体とした)

検体採取日： 11月26日～12月9日

分析項目： エリスロマイシン・・・ブリ
オキシテトラサイクリン(OTC)・・・マダイ、トラフグ

分析機関： (社)長崎県食品衛生協会 食品環境検査センター

分析方法： 液体クロマトグラフ・質量分析法

残留する限量： OTC 0.2 ppm (すずき目魚類、その他の魚類)
エリスロマイシン 0.06 ppm (すずき目魚類)
(すずき目魚類：ブリ、マダイ その他の魚類：トラフグ)

分析結果： 全て「検出しない」